

宮崎善仁会病院 リウマチセンターニュース

第5号(2022年8月号[2022/8/8発行])

大変暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。十分な水分の補給はされていますでしょうか？屋内と屋外の室温の差も大きく、特に屋内では、室温が低すぎたりすることもあり体調が狂いがちです。外出される際は、軽く羽織る上着を持参されるなど工夫して、どうぞ体調管理にお気をつけお過ごし下さい。

本号では関節リウマチ（RA）に対する薬物療法の中で、RA治療のパラダイムシフトを起こした強力な関節破壊抑制効果を有する薬剤、生物学的製剤

（bDMARDs）についてお話ししたいと思います。

RA に対する生物学的製剤（bDMARDs）治療

RAの病態に深く関与するサイトカイン（ホルモン様の低分子量の蛋白で、各種の細胞から分泌され、これにより免疫反応の強さや期間が調節されています。さらに細胞と細胞間での情報交換に働いています）などをRAの病態に関連する部分のみを、選択的に抑制する事を目的として遺伝子工学的技術を駆使して開発されたお薬です。RAにおいてはTNF α 、IL（インターロイキン）-1、IL-6といった炎症性サイトカインが、抗炎症性サイトカインに比べて非常に増えています。これらの炎症性サイトカインの中でTNF α とIL-6は中心的な役割を果たしていることがわかっています。TNF α は破骨細胞、滑膜細胞、軟骨細胞に影響を及ぼし、骨びらん、関節炎、関節裂隙の狭小化等の関節破壊にかなり関わっています。IL-6も多彩な生理作用を有し、肝細胞を介した急性期蛋白（CRP、フィブリノーゲンなど）の産生、B細胞を介した

抗体産生、破骨細胞の活性化があり、RAの炎症、自己免疫現象、関節破壊などに強く関わっています。bDMARDsはこの部分に対してピンポイントで抑えます。更に、炎症性サイトカインではなく、サイトカインより上流でRAの免疫異常に関係する免疫細胞（T細胞）を標的としたbDMARDsもあります。

bDMARDsは抗体ないし融合蛋白で、いずれも注射薬です。有用性は高いですが、疾患を完治させる薬剤ではありません。感染症など一部の副作用リスクは他の従来型合成抗リウマチ薬

（csDMARDs）に比し比較的高いですが、その一方で化学的な人工物でないため、肝臓や腎臓に対する負担は少ないといえます。製造過程、管理が大変なため一般的に高価な薬剤です。現在、RAに対して保険適用が認められている先行品は、インフリキシマブ（レミケード®）、エタネルセプト（エンブレル®）、アダリムマブ（ヒュミラ®）、ゴリムマブ（シンボニー®）、セルトリズマブペゴル（シムジア®）、トシリズマブ（アクテムラ®）、サリルマブ（ケブザラ®）、アバタセプト（オレンシア®）の8薬剤です。最近では、インフリキシマブ、エタネルセプト、アダリムマブについては、効果が同じでありながら、お薬の値段が安いというバイオシミラー製剤も使えるようになりました。3～6ヶ月間、厳格にcsDMARDs治療を行いRA活動性が制御出来ない場合

（低疾患活動性にならない場合や低疾患活動性以下になっていても関節破壊が進行する場合など）に適応になります。なお、製剤によっては、発症初期から使えるものもあります。bDMARDsを使用する場合、どの製剤も同等に最初から使用することができます。免疫

の働きが低下し、感染症（肺炎などの呼吸器感染症）にかかりやすくなることがあります。また、注射剤であるため、投与部位の反応やアナフィラキシーショックが起こることがあります。

次号では、bDMARDsについて、更に製剤ごとに詳しくお話ししたいと思います。

（日高利彦）

日高利彦医師が「Best Doctors in Japan 2022-2023」に選出されました

ベストドクターズ社は米国に本拠を置き、世界各国で病状に応じた適切な治療やセカンドオピニオン取得のための名医紹介などを行っている会社です。

ベストドクターズ社の名医選出方法は、膨大な数の医師に対して、「もし、あなたやあなたの家族が、あなたの専門分野の病気にかかった場合、どの医師に治療をお願いしますか？」とアンケートを行い、その中で治療能力、研究結果、最新医療情報への精通度などを考慮した上で、ある一定以上の評価を得た医師を名医（Best Doctors）と認定するというものです。

今回も、当院リウマチセンター所長日高利彦医師が、「Best Doctors in Japan 2022-2023」に選出されました。2012年からの12年連続での選出となりました。更なる活躍が期待されます。



リウマチセンターニュースのバックナンバーの必要な方は当院の職員に気軽にお尋ね下さい。なお、当院のホームページでもバックナンバーを確認出来ます。

(https://www.m-zenjin.or.jp/publicity_cat/publicity_1)